

県立屋内スポーツ施設の建設について

- 【建設の背景】 平成25年11月 大分県教育長へ県民26万人を超える武道館建設要望署名
 平成27年5月22日 県立屋内スポーツ施設あり方検討委員会が知事へ提言
 平成27年6月 4日 大分県スポーツ推進審議会へ「県立屋内スポーツ施設の建設等」諮問
 平成27年6月 8日 大分県スポーツ推進審議会「県立屋内スポーツ施設の建設」意見書
 平成27年6月10日 大分県知事「新たな県立屋内スポーツ施設」建設表明
 「武道競技を中心としながらも多目的に利用でき、全国規模の大会が開催できるアリーナを有する新たな県立屋内スポーツ施設」を、大分スポーツ公園内に建設
 平成27年6月24日 知事と大分市長の協議の中で、屋内スポーツ施設の整備に関する今後の連携・協力について言及

- 【整備の基本方針】
- ① 武道競技の推進拠点として活用できる施設
 (競技基準に適合した充実した柔道・剣道専用競技場)
 - ② 武道をはじめとする大規模大会を開催できる施設
 (柔道・剣道8面、ハンドボール2面等を設置可能な多目的アリーナ)
 - ③ 県民の生きがい、健康づくりを支援する施設
 (県民の交流の場としても利用できるエントランス)
 - ④ スポーツツーリズムに活用できる施設
 (多彩なコートレイアウトを可能とする可動席設置スペースの確保)
 - ⑤ 県民の命を守る防災拠点としての施設
 (現地調整機能・広域搬送拠点臨時医療施設等に活用できるスペースの確保)
 - ⑥ 大分スポーツ公園の全体景観に調和した施設
 (大分銀行ドームと調和したデザインの採用)
 - ⑦ 省エネ、ライフサイクルコストに配慮した施設
 (空調のエネルギー効率向上等による維持管理経費の削減)

- 【施設の概要】 ○主な施設
- 1) 専用柔道場: 柔道2面規模
 - 2) 専用剣道場: 剣道2面規模
 - 3) 副道場: 空手・なぎなた等2面規模
 - 4) 多目的アリーナ: 多目的利用可能な競技場
 (柔・剣道8面、ハンド2面、バスケ4面、バレー5面)
 - 5) トレーニング室
- 建設場所 大分スポーツ公園内
 ○施設面積 14,000㎡程度
 ○建設費 65億円上限 ※都市公園事業の活用

- 【経過及び今後の予定】
- 平成27年9月1日 公募型プロポーザルに係る手続開始
 平成27年11月末 本設計者選定
 平成27年12月～ 基本設計
 平成28年度 実施設計
 平成29年度 着工
 平成31年度 竣工・供用開始
 ラグビーW杯開催

